

失くしたものは
心ででした。

missing

ミッシング

石原さとみ

青木崇高 森優作 有田麗未

小野花梨 小松和重 細川岳 カトウシンスケ 山本直寛

柳憂怜 美保純 / 中村倫也

監督・脚本：吉田恵輔 音楽：世武裕子

製作幹事：WOWOW 企画：スターサンズ 制作プロダクション：SS11 配給：ワーナー・ブラザーズ映画 WARNER BROS.

©2024 missing.Pitch Pictures missing.movie.jp

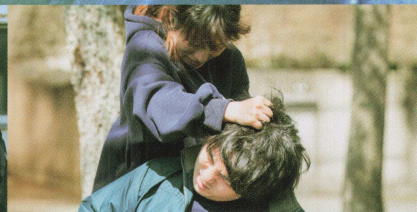
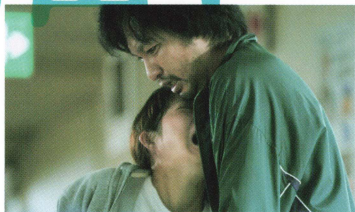
5.17 fri

主演 石原さとみ × 監督・脚本 吉田恵輔 『空白』『ヒメアノヘル』

愛する娘が失踪した——。これは壊れた世界の中で、光を見つける〈わたしたち〉の物語。

必ず ゆれる。 心が 揺れる。

常に観客に衝撃を与え、想像力を刺激する作品を発表し続ける吉田恵輔が、雑音溢れる世の中を生きるわたしたちが抱える問題をえぐり出し、失ってしまった大切なものを取り戻していく人々の姿を、リアルにかつ繊細に描いた感動作。主演は、出産を経て母となった石原さとみが「今だからできた」と語り、これまでのイメージを一新させる新境地に体当たりで挑んだ。



STORY

とある街で起きた幼女の失踪事件。あらゆる手を尽くすも、見つからないまま3ヶ月が過ぎていた。娘・美羽の帰りを待ち続けるも少しずつ世間の関心が薄れていくことに焦る母・沙織里は、夫・豊との温度差から、夫婦喧嘩が絶えない。唯一取材を続けてくれる地元テレビ局の記者・砂田を頼る日々だった。

そんな中、娘の失踪時に沙織里が推しのアイドルのライブに足を運んでいたことが知られると、ネット上で「育児放棄の母」と誹謗中傷の標的となってしまう。世の中に溢れる欺瞞や好奇の目に晒され続けたことで沙織里の言動は次第に過剰になり、いつしかメディアが求める「悲劇の母」を演じてしまうほど、心を失くしていく。

一方、砂田には局上層部の意向で視聴率獲得の為に、沙織里や、沙織里の弟・圭吾に対する世間の関心を煽るような取材の指示が下ってしまう。

それでも沙織里は「ただただ、娘に会いたい」という一心で、世の中にすがり続ける。

その先にある、光に――



娘を探す母・沙織里
石原さとみ



沙織里の夫・豊
青木崇高



沙織里の弟・圭吾
森優作



新人記者・三谷
小野花梨



カメラマン・不破
細川岳



TV局の記者・砂田
中村倫也

5月17日(金) 全国公開

missing-movie.jp #ミッシング X @kokoromissing @warnerjp_official
@warnerjp @WBondemand ワーナー ブラザース ジャパン



“人間描写の鬼” 吉田恵輔監督

数々の衝撃作を世に送り出してきた吉田恵輔の過去作品にも注目!!
『空白』(21)、『愛しのアイリオン』(18)、『ヒメアノール』(16)ほか。